

せんげん台駅東口雨水貯留施設整備について

整備目的・背景

本市では、令和5年6月の台風2号において1時間雨量53mmをはじめとする短時間の集中豪雨により、市内全域で床上・床下浸水や道路冠水等の甚大な浸水被害が発生しました。また、市の中心拠点であるせんげん台駅周辺においては、これまで何度も浸水被害が発生しており、公共交通機関がマヒするなど社会経済への被害が発生しております。

近年の気候変動の影響に伴う水災害の激甚化・頻発化に対応するため、越谷市下水道事業計画に基づき、せんげん台駅東口ロータリー内に、地下空間を活用した雨水貯留施設を整備し、浸水被害の軽減を図ります。

越谷市の地形と河川環境

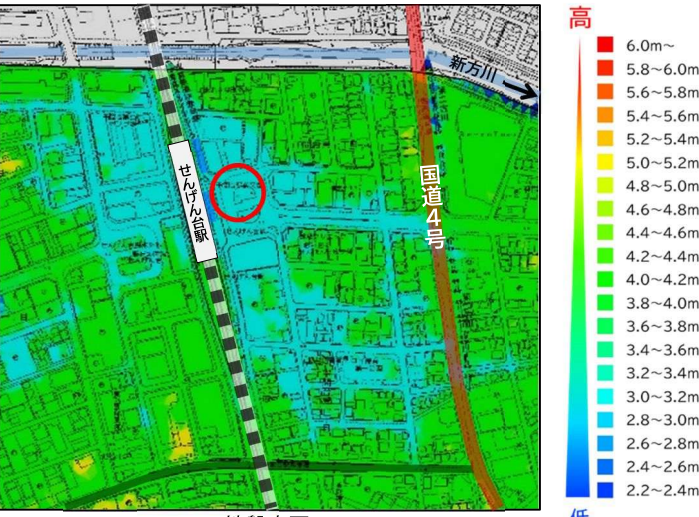


越谷市の河川環境

◇越谷市は利根川、荒川、江戸川といった大河川に囲まれた中川・綾瀬川流域に位置し、市内には5本の一級河川が流れています。

このため、古くから「水郷こしがや」と呼ばれています。

せんげん台駅周辺の地形的特徴と過去の浸水被害状況



せんげん台駅東口における過去の浸水被害状況



◇せんげん台駅周辺は、地盤が低いため、降った雨が河川や側溝、下水道などが処理できる量を上回ると、道路冠水等が発生しやすい地形となっています。

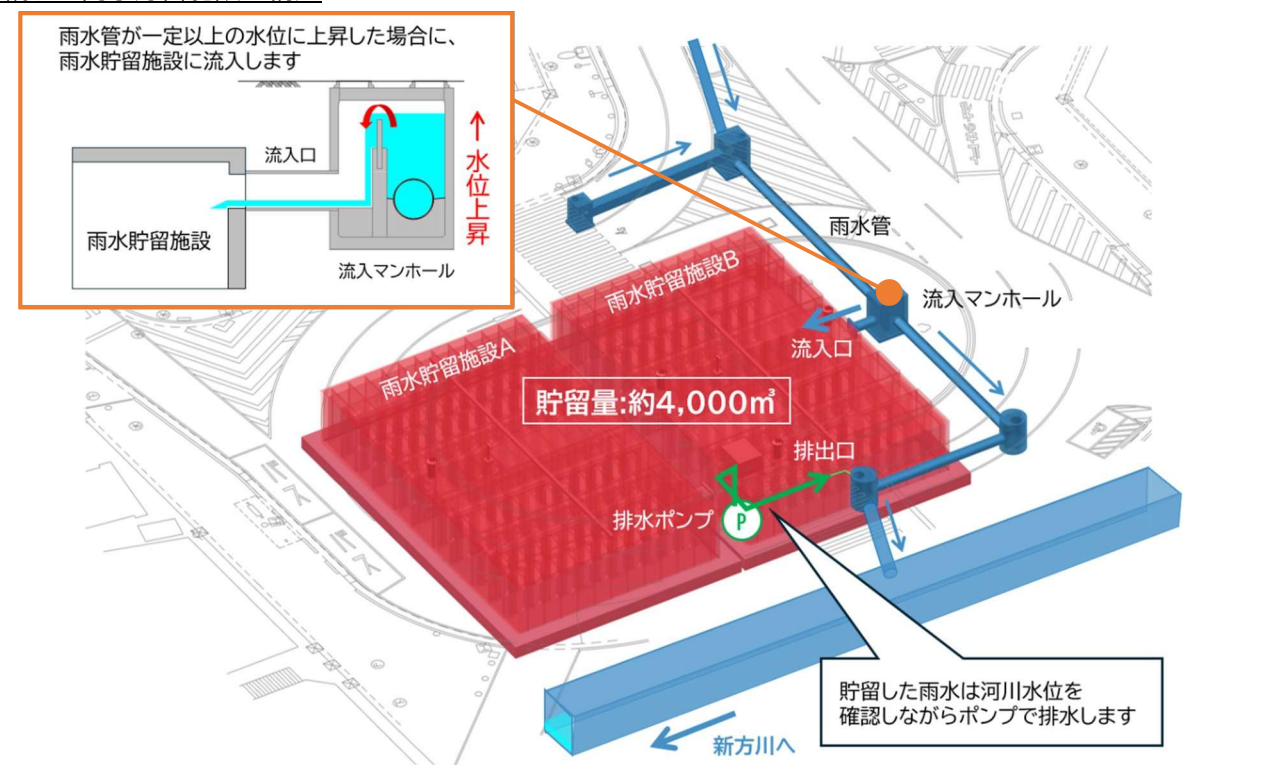
このため、過去に何度も浸水被害が発生しています。

工事の概要

雨の量が水路や雨水管などの排水能力を超えたときに発生する「内水氾濫」への対策として、雨水管や水路等の水位が一定以上に上昇した場合に雨水を貯留施設へ流入させ、一時的に貯留することで、浸水被害の軽減を図る雨水貯留施設を整備します。

- 貯留容量：約4,000m³
※一般的な小学校 25m プール「約11杯分」を貯留することができます。
- 施工期間：令和8年度～令和11年度(4カ年を予定)
- 構造形式：プレキャスト工法
※工場で製造されたコンクリート製の部材を現地で組み立てて施設を建設する工法です。

整備する雨水貯留施設の構造



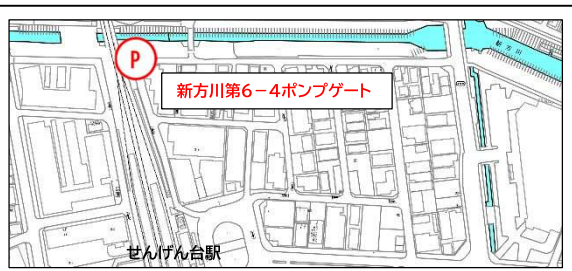
整備効果

雨水貯留施設の整備により、浸水シミュレーション図のとおり、浸水被害が軽減されます。

せんげん台駅東口付近で実施した治水対策の取り組み

埼玉県で実施している新方川の河川改修整備に合わせて、河川へ排水するポンプの改修工事を実施し、排水能力の向上を行いました。

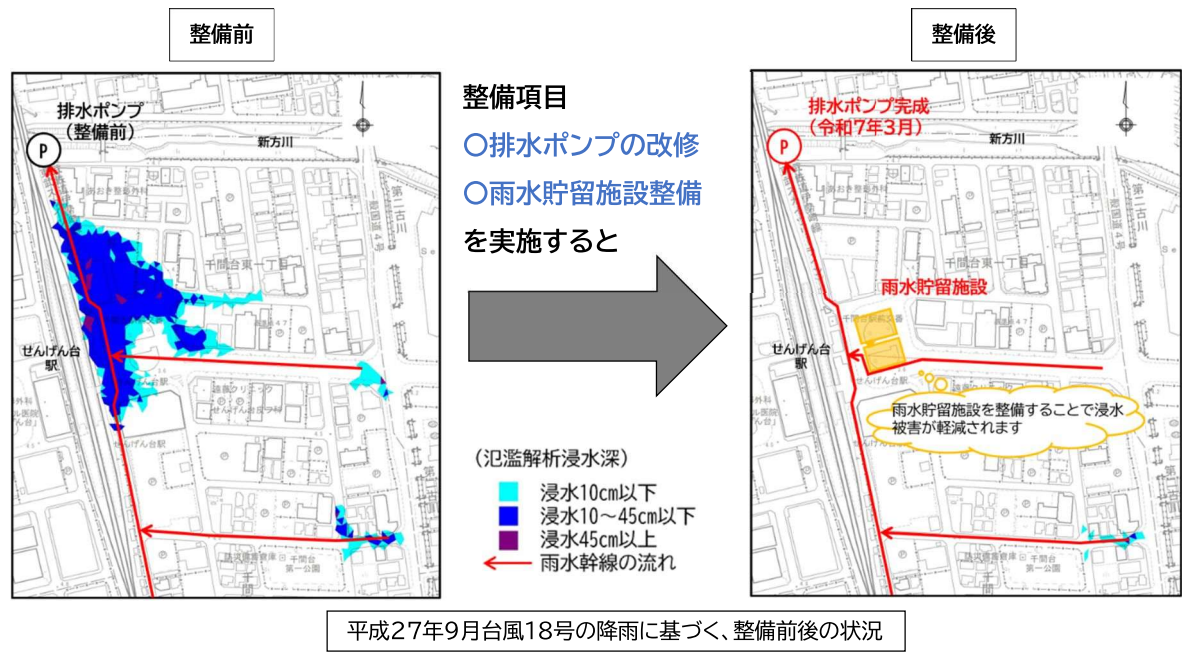
位置図



整備前



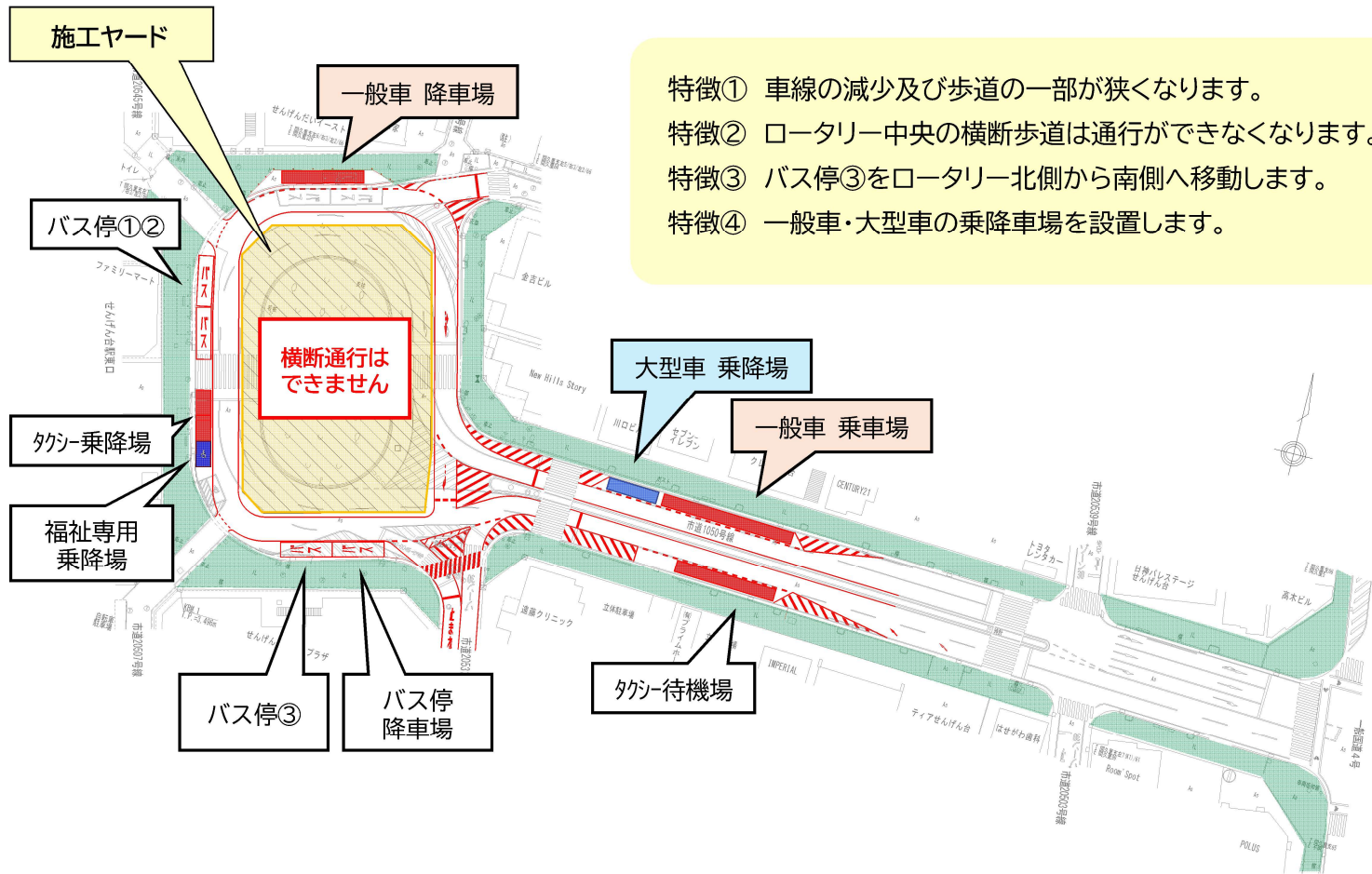
整備後



工事に伴う影響について

工事を実施するにあたり、駅前ロータリー内及び車道の一部を施工ヤードとして使用するため、車道・歩道を規制させていただきます。地域の皆様の安全を確保するとともに、工事を円滑に進めるため、ご理解とご協力をお願いいたします。

工事期間中の交通規制計画(案)



工事のスケジュール

令和8年度は、工事の入札・契約手続きを経て、令和8年度～令和11年度の4ヵ年で工事を実施予定です。
また、工事開始前に駅前ロータリー周辺の建物に対して、工事前と工事後の家屋等の状況を把握するため、家屋調査を実施します。

令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
			現在			
シミュレーション 基本設計	事業計画の変更	実施設計	入札・契約手続き 設計図書	雨水貯留施設工事		
				家屋調査	雨水管 移設工事	

メモ欄

お問合せ先： 越谷市 建設部 下水道事業課 担当：石垣・吉住・堀江
〒343-8501 越谷市越ヶ谷四丁目2番1号（本庁舎5階）
TEL：048-963-9318（直通）
FAX：048-963-9198

